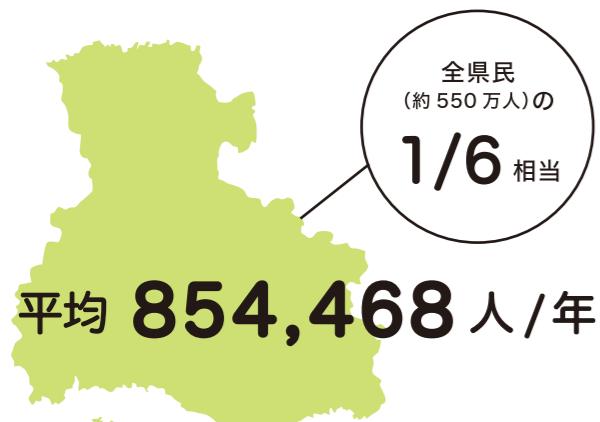


数字でみるひとはく (2012–2016)

※1 年度あたりの数値は 2012 年度～2016 年度の平均値

ひとはく総利用者数



総利用者数は、①入館者、②主催事業(セミナー、キャラバン等)の参加者、③共催・協力事業(展示会、イベント等)の参加者を合計した人数(ひとはくのサービスをご利用いただいた方々の人数)です。年平均のべ 85 万人以上(全県民の 6 分の 1 相当)の方々にご利用いただいている。

生涯学習・アウトリーチ

みんなの「学びたい」にこたえる！

移動博物館車

「ゆめはく」出張回数



企画展開催件数 平均 **24** 件/年

ひとはくでは、自然や環境等に関する企画展を年間 20 回以上開催しています。の中には、収蔵資料を紹介する収蔵資料展や、タイムリーなトピックスを紹介するトピックス展、比較的小規模なミニ企画展等が含まれます。これらの開催にあたっては、収蔵資料の活用や、国内外の他施設・他団体との連携を積極的に図っています。

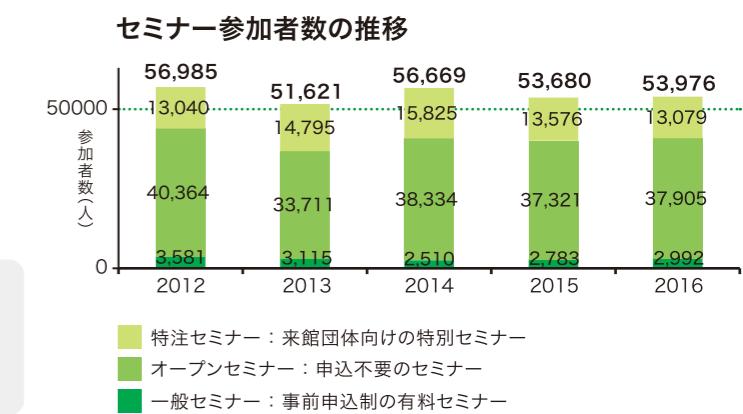
2016 年度企画展(例)



セミナー開催件数



ひとはくでは、野外観察から館内での実習・講義、解説やワークショップまで、多種多様なセミナーを、年間 1,400 回以上実施しています。幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方々に年間 5 万人以上ご参加いただいている。



来館学校団体数

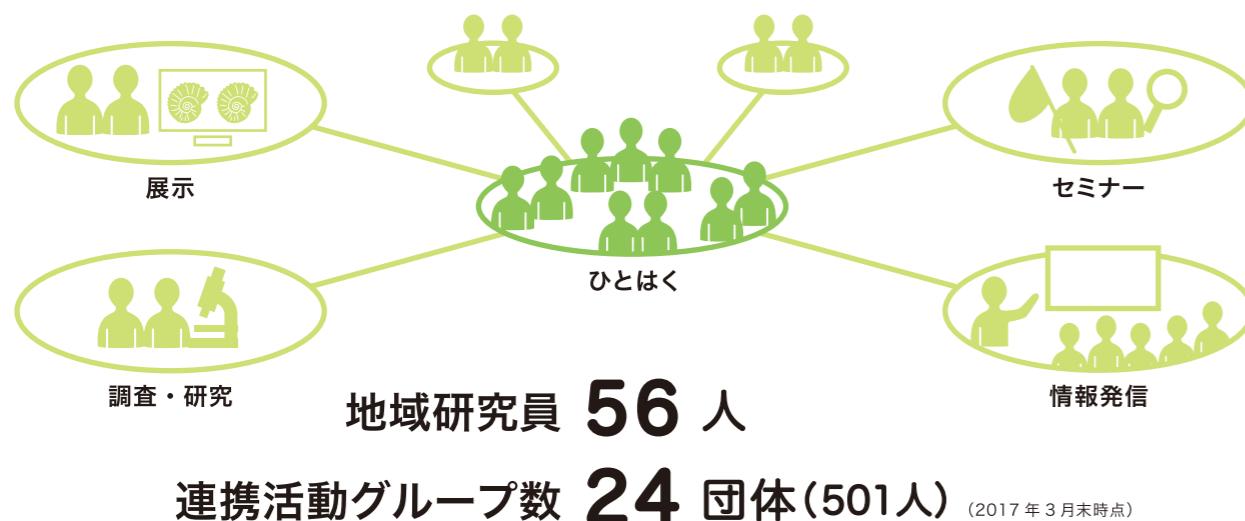
ひとはく来館者数の 15% は学校団体で、そのほとんどが小学校です。今後もより多くの学校団体に来ていただくために、約 30 名の研究員が実施する 100 種類以上のテーマから選べる特注セミナー(来館団体向けの特別セミナー)をセットにしたプランをおすすめしています。

セミナーを受ける…
授業として活用



パートナー・連携 夢の実現に向けて共に歩む

ひとはくは多くの方々と連携・協働しながら様々な活動を展開しています。「地域研究員」と「連携活動グループ」はこのような方々(パートナー)を対象としたもので、ひとはく独自の制度に基づいています。下記の数値は2017年3月末時点の地域研究員数と連携活動グループ数を示しています。

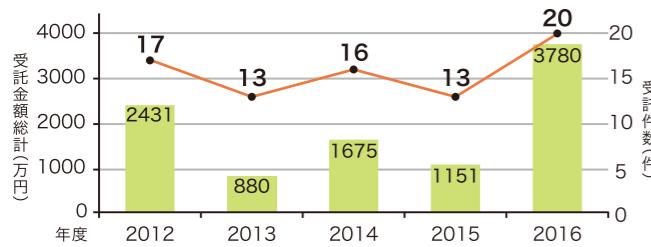


シンクタンク 専門性を活かして地域づくりをリードする



ひとはく研究員は、地域課題の解決や地域づくりに向けた取り組みを推進するために、国・自治体が設置する委員会・会議のメンバーや行政・企業のアドバイザーを積極的に務めています。上記の数値は研究員が務めた委員会委員・アドバイザー等の合計件数を示しています。

行政・企業からの受託件数および受託金額



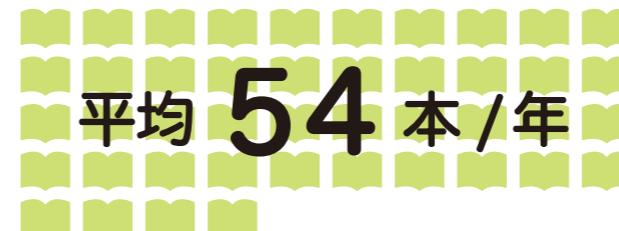
ひとはくはシンクタンク活動の一環として行政・企業からの受託研究を積極的に実施しています。上記の図はその件数と受託金額を示しています。2012年度から2016年度までの平均件数は15.8件、平均受託金額は1,979万円でした。多様な分野の専門家を擁することがこのような活動を推進する鍵となっています。

主な受託研究 (2016年度)

題名	委託者
三田市有馬富士自然学習センター プログラム運営業務	三田市
平成28年度 長尾山埋立処分地浸出水自然浄化システムに係る実験業務	神戸市
棚倉町里山プロジェクト事業業務	棚倉町
平成28年度 大阪ガス株式会社姫路製造所等における生物多様性対応関連業務	大阪ガス株式会社 CSR環境部
パークマネジメントの新展開に関する研究 その3	阪神北県民局
うずしお科学館リニューアル改修および運営に関する技術支援業務	株式会社ヘッズ
平成28年度 尼崎の森中央緑地 地域性苗木等栽培業務	阪神南県民センター
ミツカンよかわビオトープの自然環境資源を発掘・活用する手法に関する研究	株式会社 Mizkan Partners
平成28年度 淡路島太陽光発電事業地内の緑地用地地域性苗栽培業務	一般財団法人 日本気象協会
野島断層の保存・活用に関する研究	淡路教育委員会
平成28年度 上山高原自然再生事業動物モニタリング調査	公益財団法人 ひょうご環境創造協会

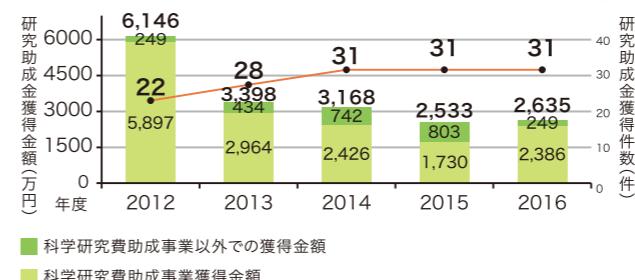
研究 生涯学習と地域に貢献する研究を推進する

学術論文・図書発表数



ひとはく研究員は、積極的に研究活動に取組んでおり、年間50本以上の論文・図書を発表しています。また研究資金も外部から積極的に獲得しており、近年ではその件数が30件を超えていました。

研究助成金獲得件数と獲得金額



科学研究費題目 (2016年度)

科学研究費助成事業
2016年度科学研究費助成事業(日本学術振興会)獲得実績
(ひとはく研究員が代表のもの)

科研費種別	題名	研究員名
基盤研究B	シクリッドにおけるオス集団内色彩二型の進化に関する研究	高橋鉄美
基盤研究C	アジア大陸東縁部列島弧における植物の分布と分化の特異性を探る	秋山弘之
基盤研究C	送粉者を共有する単系統群の進化プロセスの解明	高野温子
基盤研究C	言語音がわかりにくい高次脳機能障がい者とともに作る生涯学習施設の放送音声	三谷雅純
基盤研究C	被災した子ども達が大人になるまでー博物館こそができる長期継続型支援システムの構築	八木剛
基盤研究C	生物多様性の理解を促す自然史リテラシー涵養プログラムの構築	佐藤裕司
基盤研究C	竜脚類恐竜 <i>Tambatitanis amicitiae</i> の研究	三枝春生
挑戦的萌芽研究	市民の強制定要望を克服する街路樹の維持管理システムと協働型の景観育成計画の構築	赤澤宏樹
若手研究B	形態と遺伝子に基づく魚類寄生虫ウオノエ科の分類と幼生期形態の解明	山内健生
若手研究B	過去の植生の姿を後世に伝える植生調査資料データベースの構築と最適な公開手法の開発	橋本佳延
若手研究B	海浜植生の生物多様性保全に向けた絶滅危惧植物数種における発芽・定着機構の解明	黒田有寿茂
若手研究B	水辺の習俗行事にかかる文化的景観の保護に向けた空間的・社会的変容パターンの解明	大平和弘

資料 地域の財産を保管・活用し未来に継承する

総資料点数 1,611,946点 (2017年3月末時点)

植物 562,476点 **昆虫 931,891点** **その他動物 37,624点** (哺乳類・鳥類等)

植物標本数は全国5位
地学系 64,712点
(化石・鉱物・ボーリングコア等)

環境系 15,243点
(古写真・古地図等)

鳥類標本数は全国2位

展示等に活用した資料点数 平均 13,069点/年

情報発信 情報を積極的に発信し活動内容の周知を図る

テレビ・ラジオ・新聞等への出演・掲載回数

平均 378回/年

ホームページアクセス回数

平均 451,000回/年